

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年12月1日

事業所名 児童デイサービス すだっちイースト

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	1	・クールダウンできる部屋がある。 ・野外活動を充実させ、ストレス発散の場を提供している。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	・県の基準に沿った職員配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	3	・玄関前にスロープが設置できるようにしてある。 ・階段の柵の設置。 ・階段の昇降時に職員が付き添っている。	・階段の柵を簡易的なものではなく、作り付けの柵へと変更予定。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	0	・毎日、終礼での振り返りと月一回の全体会議で全職員が参画している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・日ごろの会話の中で、要望や感想を聞くようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0		・アンケート調査は本部のホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	3		・第三者による外部評価委員会の設置が課題である。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・コロナの関係により研修の機会が減少しているが積極的に参加している。 ・職員にとって必要な研修を実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	・日々の活動の様子の観察や相談支援専門員の情報も鑑みながら作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	0	6		・アセスメントツールの内容を研修する必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	0	・前日の振り返りや日々の業務、会話の中で立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	・児童からの提案で企画の発案、児童主体のプログラムを実行している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	1	・宿題をする時間を決め、1階訓練室を活用し児童も自発的に行っている。 ・調理実習や工作などを定期的に行っている。	・各々の課題に応じたきめ細やかな支援が課題である。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0	・個々の状況を考慮し、グループを分け、計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・周知しながら活動している。 ・振り返りの際に分担等を決めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・振り返りの際に気づきを必ず周知している。 ・注意点、問題点が見つければ共有し解決案を探っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	・気付きは大切なので、支援記録に必ず残し、問題点はその都度、解決、伝達している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・保護者との個人面談や相談支援専門員の意見を取り入れ、情報を共有している。 ・6か月に1度、全職員で評価し、支援の見直しや検討をしている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1	0		・ガイドライン総則の基本活動の内容把握が課題である。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	1	・児童発達支援管理者等が参加し、情報や意見交換を行い、その内容を職員に報告、共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	・下校時に児童の体調や様子を確認している。	・担任によっては会えない時もあり、その日のことを端的に話せる時間があればと思う。 ・各学校より行事や下校時刻のお知らせが月毎にあるが、一部の学校に関しては、学校の方針で対学校ではなく、保護者と確認をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	4		・該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	5		・対象児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	4	・令和2年10月12日、周南児童発達支援センター所長による研修を受けた。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	4	・児童ではなく、児童クラブの支援員との情報の共有を行っている。	・児童クラブとの連携が課題である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・連絡帳の活用と送迎時に様子をお互いに伝達しあっている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	1	・送迎時や個人面談等を通じ、適切な支援はできている。	・保護者に対しての支援、ペアレント・トレーニング等の研修が課題である。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・見学時に支援内容の説明を行い、契約時に重要・契約事項の説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・連絡帳や日々の送迎時に行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	3	・野外活動で保護者同士協力したり、話し合う場面は見られた。	・コロナ禍以前は、ワークショップの開催や保護者会、保護者参加の行事等での交流を行っていたが、コロナ禍では難しい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	0		・保護者への適切な対応が課題である。 ・十分していると思うが、まさかの展開も起こりうるため、職員間で情報を共有したり話し合う時間を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・毎月の通信発刊やLINEの活用、タイムラインで活動の様子を掲載し、保護者にもわかりやすいと好評である。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0	・他言しないよう気をつけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・児童にはわかりやすい声掛けを意識し、情報の視覚化も取り入れている。 ・保護者には送迎時や連絡帳で日々の様子をその都度、伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	3		・地域に開かれた事業所の運営が課題である。

7	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	0	・開所時にマニュアルを作成。定期的に訓練を行い、保護者にも通信やLINE、連絡帳で周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	・定期的実施。	・発語のない子、よく理解できない子も多いためその子たちが多々利用する日の練習もしてみたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0	・事業所内で定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	2		・身体拘束についての理解が課題である。 ・個別支援に掲載しなければならない対象者が今のところ、不在である。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	1	・一部児童とは、保護者と打ち合わせを行い、使用できない食材などを聞き対応している。 ・保護者、本人からの申請に基づき対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0		・その日のうちに職員間で共有し、解決策を模索している。 ・ヒヤリハットまではいかない事例もその日のうちに振り返りで周知している。